

2024年8月24日から25日にかけて、宮城県(大崎市、加美町)で「市民性×日本語教育」ワークショップが開催されました。このワークショップは、日本語教育専攻の学生、地域で日本語学習支援や多文化共生に関する活動に関わっている学生や教員を対象に、多文化共生社会のために自分には何ができるのかを考えていくものです。科学研究費基盤研究(B)23K21943の助成を受け、昨年度から実施されてきましたが、今回は宮城県が会場ということで、HoT-JeTメンバーも今後の企画運営の参考のために運営に関わりました。1泊2日の合宿形式で行われ、35名(学生22名、教員13名)の参加がありました。北海道・東北地域からは、5大学から12名の学生と10名の教員が参加しました。北海道・東北地域から参加した学生のコメントをご紹介します。

8月24日(土)

私たちのように日本語教育について学んでいたりと、外国人の実際の状況を理解している側とそれをあまり理解していない行政や地域ではどうしても考えや意識においてギャップが生じてしまうし、その意識の差を埋めるのはなかなか難しいものだった。しかしそのままにするのではなく、私たちのような若い世代が積極的に広めていかなければいけないと感じた。



8:30 仙台駅出発

9:30 吉野作造記念館見学

事前学習で見つけた吉野作造の「協力は生命の発育だ。割拠は人生の破綻だ。」「互いに尊敬し合う心が生じて来ると、互いに信ずる心は益々大きくなる。」という言葉が印象に残っていた。お互いを認めて尊重し合うことの重要性を伝えていと感じ、国際化協会の方や鈴木さまの取り組みで目指していることと共通しているのではないかと思った。

10:20 宮城県国際化協会による多文化共生に向けた取り組み
(公益財団法人 MIA 大泉貴広氏)

11:10 おおさき日本語教室について
(代表 鈴木裕子氏)

私も地域の日本語教室にボランティアとして携わっているが、教室を継続することの大変さ(学習者、ボランティアスタッフメンバーの固定化、新規人材が集まらない等)を感じ、日々悩んでいた。共感した点が多数あった。



12:00 昼食

イスラム教徒のための祈祷室や、ユニバーサルデザインを意識したお手洗いを設置するなど、学生にすごく配慮している学校だなと感じた。

景色が美しく、通学も四季折々で楽しめそう。

14:00 大崎市立おおさき日本語学校(認定申請中)
見学・ワーク

17:00 中新田交流センター到着、ワーク

自分の中にはない考え方やひらめきで、活動をどんどん作り上げていけたのがとても楽しかったし、将来本当におおさき日本語学校でこのようなことができていたら良いなと思った。他のチームの発表を聞いていても、どれも魅力的で斬新なものばかりでとてもわくわくした。

日本語や日本での生活について学び、経験してもらうことはもちろんだが、彼らと地域の方や社会を繋ぐことも、公設日本語学校の大きな役割の一つであると学んだ。

8月25日(日)

できることが無限大にあることを見せていただいて、勇気をもらった。

様々な意見が寄せられとても参考になった。質問に答える中で、活動中には気づかなかったものが明らかになった。聴衆とやり取りする中で問題点に気づき、改良していくための具体案を得ることができた。

他の大学ましてや大阪や東京、東北など全国の学生と話す機会がなかったので本当にいい経験になったし楽しかった。同じ日本語教育というテーマで、学生の皆さんと話し合うなかで、こんな活動もあるんだ、こんな仕事もやってみたいな、と本当に視野が広がった。

9:00 実践報告会(ポスター発表)

12:00 昼食

13:00 振り返り



14:30 バス乗車

16:00 仙台駅到着

自分たちが普段行っているプロジェクトやほかのプロジェクトについて客観的に見て考えてみて、誰のためにやっているのか、どのように課題を解決しているか、得た学びをどのように周囲に引き継いでいるのかなど、改めて自分や周囲が行ってきたことを振り返り、新たな視点から捉えることができた。

自分の近くにある環境が全てではないことを体感した。2日間を共に過ごす中で、私と似た関心を持つ人や、日本語教育学専門ではないが日本語教育に関わる人たちに出会うことができ、日本語教育の世界の広さを感じる事ができた。

HoT-JeT 人材活用部会では、今回の「市民性×日本語教育」ワークショップのように、学生の日本語教育の学びを地域の活動と結びつけ、学生の主体的な活動を促進する取り組みや、学生が将来日本語教師を職業として選択することを促進する取り組みを行っていきたいと考えています。大学生との連携に興味のある日本語教育機関や自治体、その他組織・団体の方、学生に地域社会での学びを提供したい教育機関の方、興味をお持ちの方は、是非アイデアをお寄せください！